#### 自動火災報知設備の誤報ではないのですが こんな事が!

NBS119

ある医療関係の施設での事件です。 火災過報装置の子機は各ナースステーションに設置

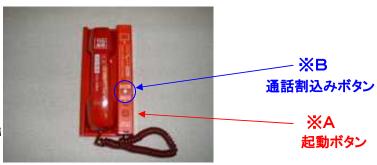
するように新築時に指導が入る場合が多いのですが、たまたまこの病院のこの詰所では、

通報装置の子機の設置位置が悪く、普段の仕事の流れの中で干渉してしまう位置にありました。

このボタンに当たると大変だよねー なんて言いながらお仕事をされていたのですが、ついに!

その瞬間がやって来たようです。

万が一誤って起動させても **落ち着いて対処**して いただければ問題は無いのですが



今回は!

起動させても 事後処理をせずに 放置! してしまいました。

**編集は! 消防隊が6台ほど連なって来て頂く という悲惨な結果になりました。** 

最も心配なのはこの誤通報騒ぎの間に本当の火災が発生した場合、そちらが手薄になることです。

### 誤作動の場合 放置 は絶対 いけきせん!

## 対策は?

#### 万が一起動押しボタンを押してしまった場合は

上図 Bの白いボタンを押してください。 回線に接続される前でしたら キャンセルできます。回線に接続され、指令に繋がってしまった場合は 子機の受話器を取り、通話割込みボタンを押して直接指令のかたに、誤作動であることを説明してください。必ず!









火災通報装置と自動火災報知設備の連動(平成27年4月1日施行されました)が施工された防火対象物では 自動火災報知設備の誤報が発生した場合は、上記と同様の状況が発生します。

# 誤作動の場合 放置 は絶対 いけません!

誤作動の場合 逆信を取って 「 今のは 誤報です! 」

「誤報の対処をしています!」

と 必ず指令のかたに伝えてください! ※ グ//



## ここにも注意!

・一旦火災報知機の信号が通報装置に入りますと <mark>連動停止</mark> ボタンを 押しても遮断することはできません





